

日本共産党平塚市議会議員団



湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業は見直せ 石田 雄二 議員

会議録は2月下旬に公開

12月定例会の会議録は2月下旬から公開します。平塚市庁舎本館8階の議会図書室や5階の市政情報コーナー、各図書館などでご覧ください。市議会ホームページでもご覧になれます。

市議会ホームページ

市議会のホームページでは、会議日程、本会議の生中継と録画中継、会議録の検索、議会だよりのバックナンバー、声の議会だよりなどを掲載しています。



請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。請願には賛同する議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。



問 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーン整備・管理運営事業の見直しプランについて、袖ヶ浜交差点の出入口から駐車場への道路を市道にし、ロータリーや駐車場の整備範囲の拡大による樹林帯伐採のため、袖ヶ浜交差点を経由する海風が増加し、後背地の住民への被害が増大するのではないか。都市整備部長 令和4年2月から5月にかけて実施した塩と風の調査では、塩化物の数値が高い場所は、風が強く吹いている傾向があり、塩と風は関連があることが改めてわかった。見直しプランでは当初プランと同様に、事業地海側の最前線の風衝形の樹木を保全し、風の流れを大きく変えないように配慮し、プール跡地部分に新規に植栽を行うことにより、袖ヶ浜交差

点から事業予定地内に入ったロータリーなども含め、整備前後で後背地の住宅地への塩と風の大きな変化がないように計画している。問 これまで市は風について事前のシミュレーションにおいて、整備前後で後背地の住宅地への塩と風の大きな変化はないと言ってきた。今回、そのシミュレーションが不服審査請求によって開示されたが、これを見ると公園区域では整備前は風速が高い地域が公園全域にあるが、整備後では風速が高い地域が海側に限られている。伐採後に区域が減っている理由を伺う。都市整備部長 シミュレーションはあくまでも事業地周辺の狭いエリアで対応したもので、今回その後塩と風の調査を行っており、それを含めて、本市として

は、総合的に風の流れは変わらないと考えている。問 今度行われる住民説明会でシミュレーション結果をきちんと説明するのか伺う。都市整備部長 シミュレーションについての疑問があれば、説明していく考えである。

問 今回の見直しプランでは、駐車場の出入口が袖ヶ浜交差点1か所になった。袖ヶ浜交差点の出入口はバス停が手前にあるため、駐車場内に駐車待ちスペースを設けても、駐車場に入るために減速する車両による渋滞が発生し、事故発生の可能性が増大するのではないか。都市整備部長 現在、関係機関との協議に向けて準備を進めており、公園の出入口などについては決定していないが、今後の関係機関との協議も踏まえ、渋滞や事故が発生しないよう計画し、より一層安心・安全な

公園整備に向けて検討を進めていく。問 5年4月の選挙は、住民の声を無視して樹林帯を伐採し、海岸に大型の公園を造ることの是非が問われる選挙である。住民が求める、プール跡地だけの整備にすべきと考えるが見解を伺う。都市整備部長 市としてはプール跡地も含め、多くの市民に平塚の海の魅力を享受していただき、海辺の総合公園を造り、そこが新たな拠点となることを踏まえ、整備を推進していきたい。

日本共産党平塚市議会議員団 所属議員 松本 敏子 議員

このほかの質問 平塚市空家等対策計画(改定素案)について、平塚市地域防災計画(風水害等対策計画)(改訂素案)について、大神地区への医療施設の誘致について

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

都市建設

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第83号 町の区域の新設等について

問 町の区域の新設を過去に何回か行ってきたが、町名が変わることによって、住民票や健康保険証などの変更手続きが必要なものはどれくらいあるのか伺う。

答 市民が行う主な手続きとして、運転免許証やマイナンバーカード、銀行口座、個人で入っている保険や車検証などがある。基本的に行政が職権でできる手続きについては市や行政機関が行うが、それ以外に関しては個人での手続きになる。

○議案第84号 令和4年度平塚市一般会計補正予算

問 道路新設改良費の生活道路整備事業についての内容を伺う。

答 当初予算でフェンスなどの移設費用として600万円を見込んでいたが、移設工事の影響範囲が当初の見込みより広範囲に及ぶため、移転補償費として今回増額予算を計上したものである。

教育民生

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第84号 令和4年度平塚市一般会計補正予算

問 教育指導費の教育指導事業について、いじめ問題対策調査会の回数増のための増額補正だが、開催回数は何回の予定で今回何回増えたのか。増えた理由も伺う。

答 当初予算として3回分を計上している。9月までにいじめ問題対策調査会を3回実施したが、いじめ重大事態について引き続き調査、検証の必要があるため、さらに6回開催する予定である。

問 GIGAスクール構想推進事業について、タブレット端末の修繕費として約78万円の補正予算を計上しているが、修繕の予定台数と年間の修繕台数がおよそ何台になるのか伺う。

答 12月から来年の3月までの4か月分まで各月20台、計80台分を見込んでいます。年間の総修繕台数は11月末時点で120台ほど既に発生しており、合計200台前後を見込んでいます。

環境厚生

議案7案件は全て原案どおり可決又は承認すべきものと決定しました。

○議案第84号 令和4年度平塚市一般会計補正予算

問 社会福祉総務費の福祉会館等管理運営事業について、パラスポーツ用品を購入するための増額補正を計上しているが、用具の貸し出しだけでなく、パラスポーツの普及、推進をしていく必要があると思うが本市の考えを伺う。

答 本市では、パラスポーツについてはスポーツ課が推進を図っており、福祉部も、パラスポーツは共生社会の観点から非常に大切な取り組みと捉え、スポーツ課と連携しながら取り組んでいる。今回、福祉会館でパラスポーツ用品を購入するが、これにとどまらず、パラスポーツを含め、共生社会をテーマに福祉部として講演会などさまざまな取り組みを検討していきたいと考えている。

問 予防費の健康増進事業について、次期健康増進計画に対するアンケートを実施するとのことだ

が、当初予算ではなく今回増額補正を計上する理由を伺う。

答 健康増進計画は当初10年の計画で、本来は令和7年度から新計画となる予定だったが、国の「健康日本21」の改訂に合わせて市区町村、都道府県が作る健康増進計画についても6年度から開始するよう国から通知が届き、6年度に実施する予定だったアンケート調査を前倒して行う必要があり、増額補正を計上した。

○議案第87号 令和4年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算

問 地域支援事業費の一般介護予防事業について、通信運搬費の増加に対応するための増額補正とあるが、その内容を伺う。

答 保険年金課が行っているフレイル対策予防推進事業の中で、地元住民、フレイルサポーターが参加するフレイルチェック測定会を行っている。測定会の依頼が当初予算計上時の見込みを上回り、郵送物が増加したため、今回増額補正をした。コロナ禍でもあり、直接対面するよりも通信物を郵送したほうがよいという判断もあり、増額補正を行った。